

第200回（令和2年11月22日施行）

1 級商業簿記・会計学

第1問

本問は、企業会計原則損益計算書原則における損益計算書上の費用及び収益の分類についての基礎的な理解を問うている。

第2問

本問ではそれぞれ、1. 荷為替と未着商品、2. 仕入割引、3. 差入有価証券、4. 社債の発行、5. 欠損のてん補、6. 外貨建売掛金について問うており、いずれも基本的な知識で解答できる問題である。

第3問

本問は、現金出納帳、当座預金出納帳、仕入帳及び売上帳を特殊仕訳帳としている企業において、記帳係として売上帳の記入ができるかどうかを問うたものである。過去問においてはあまり出題されていない分野であるが、複式簿記を理解する上で重要であるので、しっかりと理解していただきたい。問題文の各取引がどの帳簿に記入されるのかを見分けられるかが要点となる。

第4問

本問は、基本的な連結精算表を作成する問題である。過去問においてもよく出題される領域であるため、完全に理解していることが望ましい。

第5問

本問は、簿記的処理ができればよいというのではなく、財務諸表の作成能力も問われる。したがって、損益計算書と貸借対照表の基本的な項目の分類・配列、表示上の科目などは理解しておかなければならない。本問では、貸借対照表の負債・純資産の部の作成、報告式の損益計算書の作成及び財務分析指標であるROA（総資産経常利益率）を問うている。ROAの利益には複数の種類の利益が用いられるが、経常利益とは本問における報告式損益計算書の税引前当期純利益（特別損益項目がないため）と同じであることに注意されたい。